

市内で発生したクラスター事案について報告します。

## 1 概要

7月30日に飲食店を3店舗経営するオーナーが発症。感染の可能性がある28日から31日にオーナーが訪問した2店舗の従業員4名、客13名のすべてを濃厚接触者に特定。このうち、従業員2名、客4名の感染を確認。陽性者はすべて、31日の常連客の集まりに参加。計7名に感染が広がったためクラスターと判断する。

## 2 感染者の概要

感染者属性			発症日	報道発表日	管轄保健所
1	30代 男性	オーナー	7月30日	8月5日（感染者283例目・患者245例目）	奈良市
2	30代 女性	従業員	8月4日	8月6日（感染者293例目・患者253例目）	奈良市
3	30代 男性	従業員	無症状	8月7日（感染者297例目・無症状41例目）	郡山
4	40代 女性	客	8月1日	8月8日（感染者307例目・患者266例目）	郡山
5	30代 女性	客	8月4日	8月8日（感染者308例目・患者267例目）	郡山
6	40代 男性	客	無症状	8月8日（感染者314例目・無症状42例目）	奈良市
7	20代 女性	客	8月6日	8月8日（感染者315例目・患者273例目）	奈良市

※初発患者については、なお調査中。

## 3 PCR検査の状況

(8月14日現在)

区分	検査対象数	結果判明数		未判明数
		陽性	陰性	
オーナー	1	1	0	0
従業員	4	2	2	0
客	13	4	7	2※（連絡とれず）
合計	18	7	9	2

※1人は29日、1人は31日にA店で接触

## 4 店の対応状況

A.B.C店は現在閉店中。B.C店は業者により消毒済み。感染者7人は感染症指定医療機関に入院。

## 5 奈良市の対応状況

感染の恐れのある28日、29日、31日の客は常連が主だったためすべて把握できた。濃厚接触者についてはPCR検査を実施し、陰性の者に対しては2週間外出自粛要請と健康観察を実施し終了した。

うち2人には連絡が取れなかったが、31日から2週間が経過したため本日をもって追跡を終了とする。

## 6 まとめ

クラスターが形成されたものの、客及び従業員をほぼ把握追跡したことで、新たなクラスターの発生を防ぐことができた。

## 7 訂正

当初283例目の濃厚接触者（職場5人、知人3人、客13人）を（職場4人、知人3人、客13人）に訂正します。

オーナー（感染者1）の行動歴別 接触者とPCR検査結果の状況

PCR検査結果 陽性=○ 陰性=× 未=未実施

7月28日 B店		7月29日 A店		7月31日 A店 パーティー	
感染者1(オーナー)	○	感染者1(オーナー)	○	感染者1(オーナー)	○
感染者3(従業員)	○	感染者2(従業員)	○	感染者2(従業員)	○
従業員A	×	感染者3(従業員)	○	感染者3(従業員)	○
客A	×	客B	×	感染者4(客)	○
		客C	×	感染者5(客)	○
		客D	未	感染者6(客)	○
				感染者7(客)	○
				従業員B	×
				客E	×
				客F	×
				客G	×
				客H	×
				客I	未

- (ア) 感染は、7月31日のパーティーに参加していた常連客に拡がった。
- (イ) オーナー（または感染者3のいずれか）から感染が拡がった。
- (ウ) 営業時間は、A店21時～25時、B店25時～5時とずれており、客は共通した常連客が主であった。
- (エ) A店からB店に客は流れることが多かった。
- (オ) オーナーと感染者3は毎日会っていた。
- (カ) 感染者3は、C店の従業員であるが、A店B店の客でもあった。
- (キ) 感染者2は「A店は28、29日は客が1～3人しかいなかった」と報告あり。
- (ク) 連絡の取れない人2人には、保健予防課とオーナーの双方で連絡中。

オーナーからの聞き取りで、オーナーと接触のあった客はほぼ把握できた。

そのため、クラスターは発生したものの、さらに感染が拡大し、新たなクラスターを生む可能性は低いと判断する。